

令和7年（2025年）度行政評価シート【個表】 令和 7 年 6 月 27 日

評価対象事業		評価者	深沢地域整備課担当課長 奥山 信治	
まち-05	深沢地域整備事業	☒ 自治事務	主管課	深沢地域整備課
重点事業		☐ 法定受託事務	関連課	
総合計画上の位置付け	分野	5-(2) 市街地整備	施策の方針	5-(2)-①市街地整備の推進

1 事業の目的

対象	市民等
意図	鎌倉駅周辺、大船駅周辺と並ぶ第三の都市拠点の形成を図るため。
効果	全市的な課題や少子高齢化社会に対応したまちづくりが実現する。

2 令和6年(2024年)度を実施した事業の概要

・深沢地区における官民連携による魅力的かつ持続可能なまちづくりの実現の検討を進めた。	
・深沢地区全体の再開発等促進区の検討、地権者街区の地区計画の検討及び(仮称)深沢地区まちづくり条例の検討を進めた。	
・深沢地域整備事業について周知を図るため深沢地域のまちづくりに係る広報サイトを開設した。	
・土地区画整理事業の施行者である独立行政法人都市再生機構の工事に先がけ、市有地内の地中埋設物等調査及び撤去を実施した。	
・令和6年(2024年)5月に「東海道本線大船・藤沢間村岡新駅(仮称)設置に伴う工事等の施行に関する協定書」を締結し、同年10月に東日本旅客鉄道株式会社が工事着手した。	

3 事業を構成する事務事業(最小事業)実績

枝番号	事務事業	実施した主な事業 （主な経費等）	指標(単位)	令和6年度		令和7年度	達成度
				指標(実績値／目標値)		指標(目標値)	
				事業費(決算／当初)(千円)		予算額(千円)	
01	深沢地区まちづくりガイドライン運用業務	深沢地区まちづくりガイドライン運用等委託料 等	事業の進捗度(%)	80 / 21,834	100 / 18,606	100 / 47,770	80
02	土地区画整理事業の実施準備に係る事務	地中埋設物等撤去業務委託料 等	事業の進捗度(%)	100 / 70,330	100 / 103,580	100 / 326,512	100
03	深沢地域整備事業用地維持管理事務	深沢地域整備事業用地管理委託料 等	-	/		/	/
04	新駅設置に係る事務	新駅設置負担金 等	-	/		/	/
05	一般事務経費	消耗品費 等	-	/		/	/
		財源 内訳	国県支出金	0 /	0	0	
			地方債	0 /	0	0	
			その他特定財源	34,349 /	42,690	149,623	
			一般財源	90,362 /	118,194	386,581	
			事業費の合計（千円）	124,711 /	160,884	536,204	
			人件費（千円）	85,863		109,475	

4 この事業に関わる職員数(毎年度4月1日時点)

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
正規職員等	10.8	12.0	13.0	8.7	10.5	12.5
会計年度任用職員	1.0	1.0	1.0	2.0	2.0	2.0

5 評価結果

(1) 最小事業評価

枝番号	事務事業	指標分析の推移、目標未達の理由	上位施策にどう寄与したか、構成する事業としての妥当性	事業実施上の課題、改善点
01	深沢地区まちづくりガイドライン運用業務	令和6年(2024年)1月に確定した「鎌倉市深沢地区まちづくりガイドラインVer.1」の運用について検討している。 土地区画整理事業の仮換地後のまちづくり検討であり、令和6年度末時点で事業完了はしていない。	第3次鎌倉市総合計画第4期基本計画の施策の方針で掲げている「鎌倉駅周辺、大船駅周辺に並ぶ第三の拠点」の実現に向けて、深沢地区における建築物やまち並みの景観ルール等を定める「鎌倉市深沢地区まちづくりガイドラインVer.1」を確定し、公表しており、上位施策の目的達成に寄与している。	「鎌倉市深沢地区まちづくりガイドラインVer.1」の運用にあたり、引き続き地区計画及び(仮称)深沢地区まちづくり条例の検討等を行っていく。
02	土地区画整理事業の実施準備に係る事務	土地区画整理事業に係る工事に先立ち、準備工事を実施している。	鎌倉都市計画 都市計画区域の整備、開発及び保全の方針では、深沢地域国鉄跡地周辺地区については、良好な市街地の形成や市街地環境の保全に配慮しながら、土地区画整理事業により一体的に整備を進めることとしており、鎌倉市都市マスタープランでは、深沢地域国鉄跡地周辺地区について、都市拠点という位置づけを踏まえ、都市型住宅と商業・業務機能、公園・広場、スポーツ関連機能等を導入することを定めている。 これに基づき、令和4年(2022年)3月に都市計画決定を行い、令和5年度には、土地区画整理事業に係る事業計画認可を取得し、令和6年度は市による準備工事を実施しており、上位施策の目的達成に寄与している。	過去の経緯等を含め、関係者等に丁寧に説明を行っていく。
03	深沢地域整備事業用地維持管理事務	設定なし。 深沢地域整備事業用地に隣接する道路を利用する歩行者や自転車等の安全確保及び暫定利用に供する施設の良好な環境保全を目的とし、必要に応じて維持管理を行うものであり、指標設定に馴染まないため。	土地区画整理事業を行う深沢地域整備事業用地について、適切な維持管理を行うことで、第3次鎌倉市総合計画第4期基本計画の施策の方針で掲げている「鎌倉駅周辺、大船駅周辺に並ぶ第三の拠点」の実現に寄与している。	土地区画整理事業の工事開始まで、事業用地の維持管理を継続する必要がある。 また、近隣住民等から用地外に影響を与える草木等の管理といった要望等があった場合、適宜対応する必要がある。
04	新駅設置に係る事務	設定なし。 令和3年(2021年)2月に新駅設置に関する覚書、令和4年(2022年)3月に基本協定を締結し、令和4年度から実施している詳細設計を令和5年度に完了した。 新駅設置に関しては、整備費用の負担金の支払いや新駅工事に関連する工事ヤードの確保等が考えられるが、鎌倉市で直接コントロールする部分は少ないことから、指標設定に馴染まないため。	鎌倉市都市マスタープランでは、深沢地域国鉄跡地周辺拠点として、東海道本線新駅構想を視野に入れ、新しい拠点整備を行うとしている。 これに基づき、神奈川県、藤沢市及び鎌倉市が共同してJR東日本に対し新駅設置の要望を行い、神奈川県、藤沢市、鎌倉市及びJR東日本で、「東海道本線大船・藤沢間村岡新駅(仮称)設置及び自由通路整備に関する基本協定書」を締結し、令和6年度にはJR東日本が工事着手しており、上位施策に寄与する事業である。	国の交付金充当の検討を行い、負担軽減を図っていく。
05	一般事務経費	-	-	-

(2) 視点別評価

効率性	事業費の削減余地はないか		1 事業費の削減余地はない
	事業の外部化(民営化・業務委託等)はできないか		1 実施済み
	関連・類似する事業の統合はできないか		3 統合できる事業はない
妥当性	各事業の実施に対する市民ニーズはあるか		1 市民ニーズは変わらずにある
	民間によるサービスで代替できる事業はないか		3 民間によるサービスで代替できる事業はない
有効性	事業の上位施策に向けた貢献度はどうか		1 目的達成のために適切な手段(最小事業)である
公平性	受益者負担は公正・公平か	○・負担導入済	○-2 適正な受益者負担を導入している
協働	市民等と協働して事業を展開しているか	○・協働実施済	○-1 市民等と協働して事業を実施しているが、協働のあり方等の見直しが必要な事業がある
			協働実施済の場合のパートナー 自治会町内会 商店会

(3) 総合評価 ※最小事業評価を踏まえて、今年度以降の取組方針等を記載する

【今後の方針】 ☐ 拡充 ☐ 改善・変更 ☒ 現状維持 ☐ 縮小 ☐ 休止・廃止

・今後、事業の進展により基盤整備や土地利用、機能導入の誘導に係る事業費が必要であり、事業費の削減余地はなく、関連・類似事業との統合はできない。

・深沢地域整備事業は、第4期基本計画の重点事業であり、鎌倉駅周辺、大船駅周辺と並ぶ第三の都市拠点の形成を図る事業である。

・深沢地域への市役所移転が予定されていることから、廃止・休止すれば市民生活への影響は多大となる。また、豊かな市民生活に寄与することから、今後も市が実施していく必要がある。

・施行者である独立行政法人都市再生機構において、令和5年(2023年)10月に土地区画整理事業の事業計画について国土交通大臣の認可を取得した。

・今後も「村岡・深沢地区のまちづくりに関する基本協定」及び「村岡・深沢地区土地区画整理事業の施行に関する実施協定」に基づき、関係者との協議を重ね、準備を進めていく。

・深沢地区における建築物やまち並みの景観ルール等を定める「鎌倉市深沢地区まちづくりガイドラインVer.1」を確定し、運用について検討している。

【参考】

◎事業実施に係る主な指標

指標(単位)	深沢地区まちづくりガイドラインの策定に係る進捗状況						単位	%
指標設定理由	年次	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
令和4年度に深沢地区まちづくりガイドラインを策定するため。	目標値	33.3	66.7	100.0	100.0	100.0		
	実績値	33.3	66.7	90.0	100.0	100.0		
	達成率	100.0%	100.0%	90.0%	100.0%	100.0%		

指標(単位)	土地区画整理事業の実施準備に係る進捗状況						単位	%
指標設定理由	年次	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
令和4年度に土地区画整理事業に係る事業計画認可を取得するため。	目標値	20.0	50.0	100.0	100.0	100.0		
	実績値	20.0	50.0	80.0	100.0	100.0		
	達成率	100.0%	100.0%	80.0%	100.0%	100.0%		

指標(単位)	深沢地域整備事業の説明会等の開催						単位	%
指標設定理由	年次	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
本事業について理解を深めてもらうため説明会等を2回/年度、以上開催する。	目標値	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	
	実績値	5.0	23.0	26.0	13.0	3.0		
	達成率	250.0%	1150.0%	1300.0%	650.0%	150.0%		

◎他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)

比較事項	施行中の土地区画整理事業のうち、公共団体等施行の地区数割合(下段は施行実績)							
団体名	鎌倉市	藤沢市	茅ヶ崎市	寒川町	平塚市	秦野市	大和市	綾瀬市
他市実績	1/1	2/5	0	0/1	0/1	1/2	1/1	1/1
	2/3	14/51	2/9	2/3	4/11	3/23	3/17	1/7

当該事業実施に伴う 他市比較に関する考え方	・土地区画整理事業は、道路・公園等の都市施設を整備する最適な事業手法であり、他市において高い実績を上げている。 ・本事業においても、第4期基本計画に位置付けている鎌倉駅周辺、大船駅周辺に並ぶ第三の都市拠点の実現を図るためには、最適な手法である。
--------------------------	--